



## かみなりは海に落ちたらどうなるの

### かみなり雲の中に電気がたまる

かみなりは、かみなり雲（積乱雲）の中で発生します。かみなりの雲の中には、プラスの電気とマイナスの電気が、それぞれ別々の所に、集まってたまっています。

このプラスと、マイナスの間に電気が流れ、かみなりが光ったり、音がしたりします。電気が雲の中を流れるときと、雲と地面の間を流れるときがあります。かみなりが落ちるのは、かみなり雲の中にある電気が、地面との間に流れたときです。

かみなりが落ちるときは、雲の下の方にマイナスの電気がたくさんたまります。このとき地面には、プラスの電気が、たくさんたまるようになります。

### いっしゅん電気が流れる

電気の強さは、ボルトという単位で表します。家庭にきている電気は、ふつう100ボルトです。かみなりが、落ちてくるときの電気の強さは、10億ボルトもあるといわれています。しかし、かみなりの電気は、強い電圧（電気を流す強さ）の静電気で、電線の中を流れる電気とはちがいます。

それで、かみなりが落ちたときは、強い電圧の静電気が、地面などをいっしゅん流れるだけです。

海にかみなりが落ちてても、そのまわりに、いっしゅん電気が流れ、かみなりの電気は、遠くまで流れていくことはありません。

海水浴などで、にわか雨が降り、かみなりが鳴ることがあります。そのときには、すぐに海から上がり、安全な所へひなんします。海岸で、ひなんする場所がないときには、体をふせるように低くして、身を守ります。（監修・村山 貢司）

